

西浦和駅周辺のまちづくりビジョン協議会案作成に向けて

1. 西浦和駅周辺のまちづくりビジョン協議会案とは

西浦和駅周辺には、土地区画整理事業区域として都市計画決定されながら、長期にわたり事業化が出来なかった区域があります。そのため、道路や公園、生活基盤が一部未整備のまま市街化が進行しています。

西浦和駅東西地区まちづくり協議会では、西浦和駅周辺のまちづくりをこれ以上停滞させないよう、協議会の前身であるまちづくり検討会で作成した『夢あふれる街「西浦和」まちづくり憲章草案』をベースに、これから西浦和のまちづくり検討を進めています。

「西浦和駅周辺のまちづくりビジョン協議会案」は、平成28年度に協議会で取り組んだ全4回のワークショップにおける意見・アイディアを基に、西浦和駅周辺の将来のまちづくりの目標や姿、実現したいまちづくりの方向性などについて取りまとめたもので、今後市と住民が協働で策定していく「西浦和駅周辺まちづくりビジョン」の基となるものです。

2. 協議会案の構成

【将来像～夢あふれる街「西浦和」～】

- 地区のまちづくりに取り組んでいくための、目標や目指すべき姿

【取り組みの方向性】

- 地区の将来像や目標の実現に向けた、5つの視点からの取り組みの方向性

①駅へのアクセス

⇒ 桜区の玄関となる西浦和駅へ、来訪者などを安全・快適に迎えられるよう、アクセス性向上に向けた取り組みの方向性

②まちの賑わい・活性化

⇒ 多様な人々の交流で賑わう、活気あふれる拠点性・発信性を持った地区形成に向けた取り組みの方向性

③まちの安全性・快適性

⇒ 地域住民等が安全・快適に暮らすことができる住環境の維持・改善に向けた取り組みの方向性

④地域資源との連携

⇒ 荒川沿いの自然の恵みなどを活かした都市観光を呼び込むよう、地域資源と連携した取り組みの方向性

⑤周辺地域との連携

⇒ 新たな人との交流を生む産業集積拠点の検討や田島団地の建替えなど、周辺のまちづくりと連携した取り組みの方向性

3. 検討の範囲

西浦和駅周辺の3地域（土地区画整理事業にとらわれない「実現性のあるまちづくりを目指すエリア」、および隣接する「田島団地」や「産業集積エリア」）のうち、実現性のあるまちづくりを目指すエリアを先行対象エリアとして検討。



4. 検討の経緯

○市民の意見や提案等を集約し、「まちづくりビジョン協議会案を作成することを目的に、西浦和駅東西地区まちづくり協議会で、全4回の「まちづくりワークショップ」を開催しました。



第1回 ワークショップ

- 昨年度調査の経過を踏まえ、西浦和駅周辺の現況及び地区的課題について意見交換や情報の共有を行いました。

第2回 ワークショップ

- 土地区画整理事業の廃止に向けて必要な都市基盤について共有した後、地区の主な課題について改善策や方向性の案などを話し合いました。

第3回 ワークショップ

- まちづくりの方向性（まちづくりの取り組み方針と地域・住民が協力できること）について意見交換を行いました。

第4回 ワークショップ

- 西浦和駅周辺まちづくりビジョン（H28年度協議会案）の内容と、今後の活動について意見交換を行いました。

西浦和駅周辺まちづくり ビジョン 協議会案 作り成り

5. 西浦和駅周辺まちづくりワークショップの意見・提案状況

まちの課題・着眼点

- ✓ 車両がバイパスから駅にアクセスしにくい
- ✓ 駅周辺の道路が狭く通行しにくい
- ✓ 駅周辺からアクセスしやすい場所に送迎車両が一時停車するスペースがない
- ✓ 抜け道で渋滞がおきる
- ✓ 歩行者がバイパス西側から駅へアクセスしにくい
- ✓ 歩行者と送迎車両などの錯綜が危険な箇所がある

- ✓ 利便性が高く、活気のある商店街にしたい
- ✓ 賑わいのある市民交流が活発なまちにしたい
- ✓ 空き家や店舗をコミュニティの場に活用したい

- ✓ 地震や水害など、災害に強いまちづくりをしたい
- ✓ 田島団地の公園を活用した災害時の拠点づくり
- ✓ 地域住民同士の連携を図り、防災力を高めたい

- ✓ 秋ヶ瀬公園と連携した都市観光のまちづくりを進めたい
- ✓ 桜区のシンボルである桜の木やさくら草を活用した花のあるまちづくりをしたい

- ✓ 団地に若い人が住めるような仕組みづくりが必要
- ✓ 産業集積拠点と駅とのアクセスを検討してほしい

まちづくりのアイデア

- 駅周辺からアクセスしやすい駅前広場の整備
- 駅にアクセスしやすい道路整備
- デッキなどによる横断性向上と歩行者と自動車の分離
- 抜け道の対策

- 安全に買い物ができる道路の整備
- 地図や看板の設置
- 休憩や人が集まることが出来る場所の確保
- お祭りやイベントの定期的な開催

- 避難場所の新設や周辺地区との連携による災害時拠点づくり
- 防災マップ、ハザードマップ等、災害に備えた周知
- 災害時における地域住民同士の連携

- 花壇や店先休憩所など、さくら草を活かした空間作り
- 総合的な取組みによるブランド化
- 駅から地域資源までのアクセス性向上
 - ・安全な歩行空間の整備
 - ・案内看板の設置
 - ・臨時バスやレンタサイクルの活用

- 田島団地建替えと合わせた周辺整備
- 雇用創出のための産業集積拠点へのアクセス検討

まちづくりの方向性

- 駅へのアクセス
- まちの賑わい・活性化
- まちの安全性・快適性(交通・防災等)
- 地域資源との連携
- 周辺地域との連携

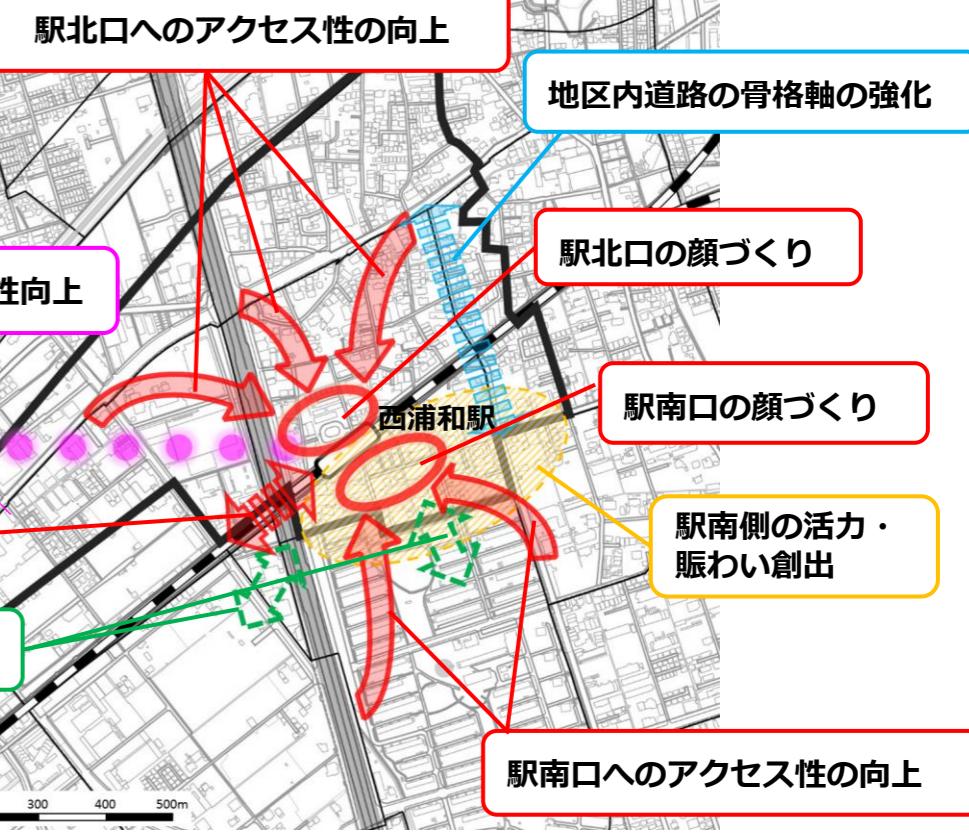
駅から地域資源までのアクセス性向上

バイパスの横断性向上

周辺地区のまちづくりとの連携

今後、地域で取り組むこと

- 地域の皆さんと一緒にまち歩きをする
- 西浦和駅利用者の声を聞き、まちづくりに活かす
- 西浦和駅周辺まちづくりビジョン協議会案の周知活動
- 定期的にイベント等を開催し、まちの賑わいとコミュニティを創出
- 西浦和駅周辺のまちづくりに関連する事業所や大学等との意見交換



西浦和駅周辺のまちづくりビジョン 協議会案

～夢あふれる街「西浦和」～

《自然の恵みと共に》

荒川へのアクセス拠点として
荒川ぞいの自然の恵みを活かす
まち

《拠点性や発信性》

ゆとりや潤いの中に産業・文化
の創造と活気が溢れるまち

《多様な交わりと和》

利便な立地を活かした交流が
資源となるまち

《参画・参加機会の創出》

あらゆる世代が活躍でき地域
を豊かにするまち

《アイデンティ・シンボルのさくら草・獅子舞》

桜区の顔となる個性的でたおや
かな景観のまち

《安心・安全なまち》

防災や防犯に気を配れるまち

◆まちづくりの取り組みの方向性

《地区全体に関わる方向性》

○道路ネットワークの充実と安全性等の向上

- 幹線道路網の整備
- 適切な交通規制の導入などによる利便性・安
全性の向上（一方通行化、抜け道対策 等）
- バリアフリーに配慮した道路空間の整備
- 水路を活かした遊歩道整備
- 雨水排水が適切にできるよう改善

○バス機能の充実

- バス系統の充実
 - 西浦和駅～浦和駅
 - 西浦和駅～区役所～埼玉大学 など
- コミュニティバスの運行ルート見直しと増便

○防災性の向上

- 地区全体に対して避難場所として利用できる
公園の適切な配置
- 周辺地区との連携による災害時拠点づくり
- 防災マップ等の周知徹底
- 地域住民同士の連携

○まちの賑わい・活性化

- 定期的なまつりやイベントの開催

○地域資源を活かしたまちづくり

- まちなかに花壇や店先休憩所など、
さくら草を活かした空間作り
- 市民レベルでの活動をはじめとした
総合的な取組みによるブランド化

(A) 駅から地域資源までのアクセス性向上

- 安全な歩行空間の整備
- 案内看板の設置
- 臨時バスやレンタサイクルの活用
- サイクリングロードの整備
- (仮称)さいたまウエストパーク構想との連携

(B) バイパスの横断性向上

- デッキ・地下道などによる横断性向上と歩行
者と自動車に配慮した安全性向上
- バイパス西側に駅改札口の設置
- 鉄道高架下の活用

(C) 周辺地区のまちづくりとの連携

- 田島団地建て替えと一体となった周辺整備
- 雇用創出のための産業集積拠点などバイパス
西側のまちづくりとの連携

